

受注型から提案型へ

中田 商事

中小セミナー事例発表

【三重】三重県産業支援センターが主催する中小企業チャレンジ

セミナーが七月二十六日、伊賀市のフレックホテルで開催された。

中小企業経営革新支援や、IT活用型経営革新モデル事業の承認を受けている(有)中田商事(伊賀市)の中田純一社長が、「受注型企業から提案型物流サービス事業への転換」を

テーマに事例発表を行った。

同社は平成十二年四月に設立。当初は売り上げ増ばかりを追求していたことで、ドライバーに過度に負担をかけ、「人殺し」呼ばわりされることもあったが、「経営者になりたいたい」の一心で、知人から紹介された経営革新に積極的に取り組んできた。

大型天井クレーン二

台装備の倉

庫を取得、

デジタコを

全車に導入

するなど、

顧客サービス

を充実さ

せるためのハード面を整備する一方で、専門家派遣事業や人材確保助成金などを活用し、コストを抑えながら社内レベルアップを図ってきた。

その結果、顧客満足度が上がり、従業員もプロとしてのやりがいが増え、安全性優良事業所の認定やグリーン経営への挑戦などで、安全や環境を通しての社会貢献が可能となった。

「会社を設立した時は、まさか五年後に自分がこの場に立っているとは思わなかった」と話す同社長。経営革新を押し進めてきた自身の取り組みを振り返り、一層の前進を誓った。



中田純一社長

顧客サービス